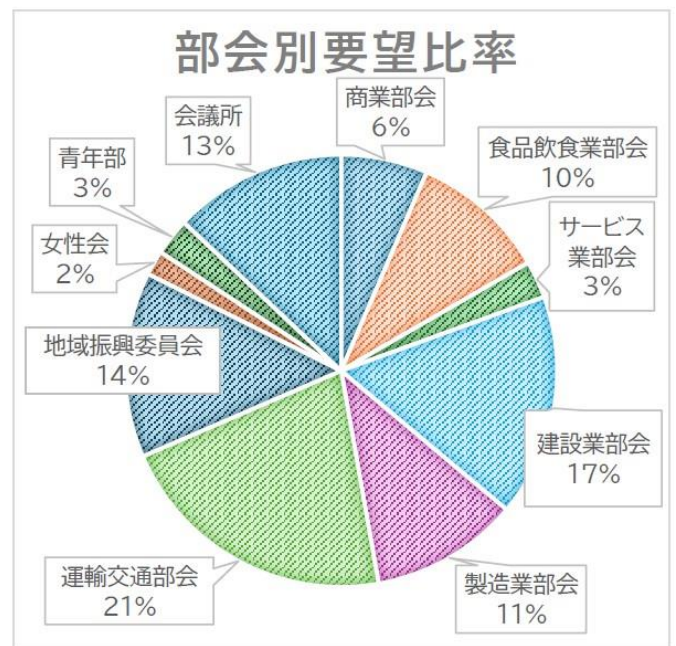
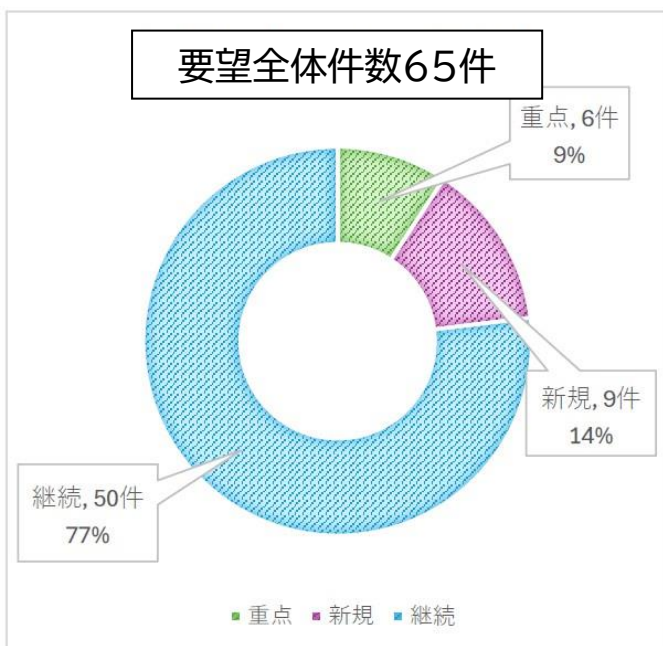


2026年度苫小牧市に対する商工業振興に関する要望事項のとりまとめについて

【食品飲食業部会 昨年要望事項 11件】 重点2、新規1、継続8

		要望事項	実現性	実効速度
1	重点	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C
2	重点	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化（スルー化）の実現	B	C
3	新規	まちづくり・夜間における交通利便性の確保 繁華街における交通手段確保への支援	C	C
4	継続	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A
5	継続	地産地消に取り組む事業者への支援	D	D
6	継続	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	A	A
7	継続	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	C	C
8	継続	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B	B
9	継続	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 市民のITリテラシー向上による情報格差解消に向けた取り組み推進	A	A
10	継続	介護・保育をはじめとするサービス並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の拡充	こどもA 農水D	こどもA 農水D
11	継続	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A

実現性:A…実現可能又は実行中 / B…実現に向けて検討中 / C…検討する / D…見通し不明又は不可能  
 実行速度:A…本年度中又は来年度、2年以内 / B…3ヵ年計画又は3年以内に実行 / C…長期計画又は計画中 / D…実行なし



2025年度の要望件数は合計 65件[ 重点要望事項6件、新規要望事項9件、継続要望事項50件 ]

## 苫小牧市からの回答詳細 [重点2件、新規要望1件]

		要望事項	実現性	実行速度
1	重点	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C
市回答		組成した苫小牧市スマートシティ官民連携協議会において、今後も継続して交通の結節点である駅周辺を中心とした交通システムの在り方等について、部会及び事業化分科会で協議し、社会課題の解決や市民生活の質の向上に取り組んでまいりたいと考えております。		
本年度 部会判断 (案)		<b>重点要望として継続</b> (解説加筆または要望として検討) ・進捗状況などの情報公開、市民・企業の意見を汲み上げられるような仕組み		

		要望事項	実現性	実行速度
2	重点	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化（スルー化）の実現	B	C
市回答		「JR新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上」につきましては、 <b>市の最重要要望事項に位置付け</b> ております。新千歳空港における2次交通の充実により、回復しつつある観光客数のさらなる拡大が見込めるほか、Rapidus（株）の動向等、道南・道東方面への人流増加に寄与するものと捉えております。		
本年度 部会判断 (案)		<b>重点要望として継続</b>		

		要望事項	実現性	実行速度
3	新規	まちづくり・夜間における交通利便性の確保 繁華街における交通手段確保への支援	C	C
市回答		本市においては、バス及びタクシーの運転手の高齢化が進んでいること、さらには2024年問題の影響もあり、夜間、さらには酔客を主要な乗客とする繁華街での運転手の確保が厳しい状況となっております。 これらの課題を解消するには、若い運転手の確保が重要となるため、運転手募集の周知や職場環境改善支援等、交通事業者に対して、できる限り協力してまいります。 また、自動運転バスにつきましては、運行に高額を要するため、財源確保が大きな課題でございますが、「スマートシティ官民連携協議会」の場等において、民間事業者と連携した取組みなど、財源措置のアドバイス等もいただきながら、取り組んでまいります。		
本年度 部会判断 (案)		<b>継続要望</b>		

## 苫小牧市からの回答詳細 [継続要望 1/2]

	継続要望事項	苫小牧市からの回答	実現性	実行速度	本年度判断
4	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	<p>・新型コロナウイルス感染症による影響の長期化により、飲食店や地元店に対する厳しい状況を支援するため、令和4年度に「プレミアム付商品券事業(第3弾)」を実施しました。</p> <p>・第3弾につきましては、一般商品券、とまチケともに発行冊数を各10万冊から各15万冊に増刷しており、市民向けのアンケート調査結果からは、本事業に対する市民の期待が大きいことが伺えます。</p> <p>・令和5年度以降の継続的な実施につきましては、国の動向や支援策について注視するとともに、実態を把握した上で、総合的に判断してまいりたいと考えております。</p>	A	A	継続するのであれば、強い文言等に変更が必要か
5	地産地消に取り組む事業者への支援	<p>本市における地産地消の取組といたしましては、「地域資源活性化推進事業」の中で生産者と事業者のマッチングを目的とするイベント等に対して補助金の交付を計画しておりますほか、様々なイベント等に生産者の皆様が出店する際の費用や試食等に要する費用、無料体験を実施するための費用に対する補助も行っており、引き続き地域資源を活用した取組を支援してまいりたいと考えております。(農業水産振興課)</p> <p>(公財)道央産業振興財団では、農・畜産資源を含む地域資源等を活用した新製品・新商品開発にかかる経費の一部を助成しております。</p> <p>市としましては、市内企業に対し、財団の助成事業の周知を図り、活用を促進することで、地域資源を活用した製品開発などの地産地消の取組を支援してまいりたいと考えております。(工業・雇用振興課)</p> <p>商店街主催にて、地産地消を促進する内容のイベント等を実施した場合、「イベント・環境整備等助成金」にて支援が可能なので、活用いただきたいと考えております。(商業振興課)</p>	D	D	継続
6	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	<p>訪日外国人旅行者や在留、就労する外国人が増加する中、外国人材の受入や共生のための取組は、市としても必要かつ重要な取組と考えております。本市におきましても、ベトナム国籍を中心に、市内在住外国人住民が増加し続けているところでございます。</p> <p>そうした中、相談窓口の拡充や日本語教室の開催などによる日常生活への支援、また、市民との各種交流事業などのソフト事業を継続的に実施しながら、多文化交流の推進や在住外国人同士の交流の輪の拡大に努めております。</p> <p>今年度策定予定の「多文化共生指針」の中でも、外国人材の活用や、外国人にとっても住みやすいまちづくりに向けた取組を位置付けながら、様々な施策に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	A	A	「共生指針」策定・沿った事業展開を求める？継続するのであれば、文言変更
7	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	<p>本市は、産業拠点都市として多様な企業が立地することで発展してきた経過があることから、サテライトオフィスの立地により雇用が生まれ、移住・定住の促進に効果があると考えます。</p> <p>サテライトオフィスの誘致については、フェア等で苫小牧のアクセス性の良さ、豊かな自然、快適な生活環境等のPRを継続するとともに、事業者のニーズを見極めながら、取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>移住の取組としまして、首都圏などで開催される移住相談会への参加や移住情報サイトへの情報掲載を行っております。交通アクセスの優位性や充実した都市機能と自然環境を併せ持つまちとしてPRをおこない、移住候補地として選んでもらえるよう取組を継続してまいります。</p>	C	C	継続
8	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な就労形態が普及していますが、ワーケーションは、訪問者が実際に本市で長期滞在をされることから、将来的に移住に結び付く関係人口としてとらえています。</p> <p>ワーケーションについては、フェア等で苫小牧のアクセス性の良さ、豊かな自然、快適な生活環境等のPRを継続するとともに、事業者のニーズを見極めながら、取り組んで参りたいと考えております。</p>	B	B	継続
9	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 市民のITリテラシー向上による情報格差解消に向けた取り組み推進	<p>デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入につきましては、行政手続のオンライン化をはじめとして、最新ICTサービスの導入を進め、行政サービスの充実を図ってまいります。</p> <p>市民のITリテラシー向上による情報格差解消につきましては、令和4年度より事業者との協働で「スマホ使い方講座」を実施しており、今年度も市内の商業施設12箇所において、1日4講座・週3日のペースで継続して開催しております。</p> <p>また、一部の中学校においては、札幌法務局等との連携で生徒を対象にスマホ教室を開催し、スマートフォンを利用する上で気を付けなければならないことを伝えるとともに、保護者向け入学説明会の場においては、北海道警察との連携でスマートフォン利用に関する説明の場を設け、生徒・保護者共にスマートフォンやSNSに関するリテラシー向上を図る取組を行っております。</p>	A	A	スマホ講座以外に求めるか。達成引き下げか

## 苫小牧市からの回答詳細 [継続要望 2/2]

	継続要望事項	苫小牧市からの回答	実現性	実行速度	本年度判断
10	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の充実	<p>市内の教育・保育施設では、安全・安心の保育を実現するため、各園の創意工夫により、研修等が行われており、市では、教育・保育施設等で働く保育士の資質向上などを目的に、研修費用等の助成を行っているところでございます。</p> <p>引き続き、北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部や苫小牧市法人保育園協議会などの活動を注視し、人材教育の推進に努めてまいります。（こども育成課）</p> <p>一次産業従事者に対する支援としましては、新規就労した一次産業従事者が長く経営を続けていくことが重要と考えていることから、経営を安定させるための補助金や利子補給事業などを実施しているところです。また、人材教育の点につきましては、地域の生産者等の協力を得ながら技術的な指導が図られるようサポートしてまいります。（農業水産振興課）</p> <p>飲食業で創業を希望する場合は、貴会議所と共催で実施している創業セミナーの受講で知識を養い、「中小企業創業サポート事業補助金」の活用で創業の後押しをしていきたいと考えております。（商業振興課）</p>	こどもA 農水D	こどもA 農水D	継続
11	地産地消の推進にかか事業への支援	<p>地産地消という理念のもと、地場農水産物の消費拡大につながるものとして、意義深いものと考えております。市といたしましては、令和7年度におきましても財政的な支援を検討しているところですが、今後の事業展開におきましては、十分な協議をさせていただきたいと考えております。</p> <p>（産業経済部農業水産振興課）</p> <p>市では、令和2年度から苫小牧イノベーション活性化事業を実施しており、新規事業の創出に向けて先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援しております。また、(公財)道央産業振興財団と連携し、引き続き、地域資源の活用による商品開発等のものづくりを支援してまいります。</p> <p>（産業経済部工業・雇用振興課）</p>	A	A	継続

## ○要望書作成に係るスケジュール

11月	全体部会 → 要望案を固める ～他部会含めた内容の精査～
12月 ～1月	事務局内で要望内容の精査、調整
2月	地域振興委員会 正副会頭会議
3月	部会長委員長合同会議 常議員会
4月	要望書提出(正副会頭・部会長出席)